



## 2025年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年3月13日

上場会社名 株式会社トップカルチャー 上場取引所 東  
コード番号 7640 URL <https://www.topculture.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 清水 大輔  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 兼 管理本部長 (氏名) 吉田 勝一 TEL 025-232-0008  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年10月期第1四半期の連結業績(2024年11月1日~2025年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期第1四半期	4,894	△3.5	4	—	△16	—	△28	—
2024年10月期第1四半期	5,073	△6.0	△31	—	△48	—	△56	—

(注) 包括利益 2025年10月期第1四半期 △22百万円( —%) 2024年10月期第1四半期 △53百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期第1四半期	△1.80	—
2024年10月期第1四半期	△3.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年10月期第1四半期	15,707	1,532	9.5	△40.82
2024年10月期	15,780	1,617	10.0	△36.98

(参考) 自己資本 2025年10月期第1四半期 1,494百万円 2024年10月期 1,585百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年10月期	—	—	—	—	—
2025年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2 上記配当の状況は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と管理関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の種類株式の配当の状況をご参照ください。

### 3. 2025年10月期の連結業績予想(2024年11月1日~2025年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,876	0.6	113	—	72	—	△57	—	△3.71
通期	18,209	△1.1	127	—	43	18.9	△140	—	△8.98

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年10月期1Q	16,214,400株	2024年10月期	16,214,400株
② 期末自己株式数	2025年10月期1Q	603,480株	2024年10月期	603,480株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年10月期1Q	12,403,345株	2024年10月期1Q	12,403,345株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(A種優先株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	4,000.00	—	4,021.92	8,021.92
2025年10月期	—				
2025年10月期(予想)		3,967.12	—	4,032.88	8,000.00

(B種優先株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	500.00	—	502.74	1,002.74
2025年10月期	—				
2025年10月期(予想)		495.89	—	504.11	1,000.00

(注) 1株当たり配当金は、円単位未満小数第3位まで計算しその小数第3位を四捨五入して表示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化による人流増加や持続的な賃上げが下支えとなり、国内の消費活動は緩やかな回復の動きが続いております。一方で、中国経済の減速懸念や米国の政策動向、地政学リスクの上昇、エネルギー資源や原材料価格の上昇、金融資本市場の変動リスクなどにより、依然として景気の先行きは不透明な状況であります。

こうした環境の中、当社グループは、中期経営計画(2024年10月期～2026年10月期)の2年目として、読書文化を継承していくための“持続可能な書店創り”の方針のもと、計画を遂行すべく、書籍を中心とした“書籍×〇〇”による業態連携や新規商品導入へのチャレンジを加速させ、本から繋がる／本へと繋がる売場創りを強化、新規の来店や再来店に繋がるイベントを多数開催し、店舗の付加価値を追求してまいりました。創業当初からの書店ではない、業種を組み合わせた複合書店としてのアプローチを再構築いたしました。

中心となります書籍は、出版取次の株式会社トーハンと連携し、品揃えの充実を図ると共に、NFTデジタル特典付き出版物の販売、オリジナル企画の展開を強化し、本を「売る」から「贈る」購入スタイルも提案いたしました。一方、オンラインでの販売強化にも取り組み、2023年12月より取り組んでおりますECショップも順次新規に開業し、現在4店舗のECショップを展開しております。リアル店舗との両輪での販売を強化し、お客様へ読書に触れる機会を創出しております。

その他、物流に関してもトーハンの物流倉庫と連携し、物販と書籍と同時配送する新たな仕組みも構築し、コスト抑制と店舗運営の効率化を図ってまいりました。

加えて複合書店の強みを活かし、新規事業や商品、サービスによりお客様に感動体験や自己発見を提供することで、新規の来店や再来店の増加に繋がり、蔦屋書店事業とのシナジー効果も最大化するべく取り組んでまいりました。

新規事業においては、DAISOやガシャポンバンダイオフィシャルショップは引き続き好調を維持しているほか、コスメECサイト企業と提携したリアルコスメショップ「NO IN beauty」を展開拡大いたしました。また、既存のゲーム・トレカ販売事業を子会社の同事業(ふるいちトップブックス)に転換をし、年齢や性別を問わず需要が拡大している分野の拡大を行い、幅広い年齢層の来店機会を創出することができました。

さらに、新規ファッションアイテムや高級食品ブランド、全国から取り寄せた有名菓子、全国観光地の物産展、人気通販ショップのPOP UPショップを展開強化し、日常を彩る・非日常を演出する商品を提案いたしました。イベントも多数開催し、買い物だけではなく、また行きたいとお客様に思っただけの繋がり創出に取り組みました。

居心地の良い店舗・空間を創出するため、当社が運営する蔦屋書店の約半数にCaféを併設しております。併設しておりますCaféは、一部店舗を除き子会社のタリーズコーヒーFC事業にて運営し、今後も未導入の既存店舗への新規導入を推進してまいります。

グループ子会社でありますスポーツ関連事業、訪問看護事業、飲食事業、ゲーム・トレカ販売事業につきましては、それぞれの売上は前年同四半期を上回り、連結売上高にも寄与いたしました。特に、飲食事業及びゲーム・トレカ販売事業においては、売上、利益共に前年を大きく上回る結果となりました。引き続き、蔦屋書店事業を軸とした新たなトップカルチャー経済圏を創出すると共に、今後は、グループ企業間における会員連携により、新しい顧客体験やサービスを提供するための、自社会員IDの構築準備も進めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,894百万円(前年同期比96.5%)、営業利益4百万円(前年同期 営業損失31百万円)、経常損失16百万円(前年同期 経常損失48百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失56百万円)となり、売上高は不採算店舗3店舗の撤退が影響し前年を下回ったものの、それぞれの利益においては前年を上回る結果となりました。

#### 売上・利益の増減要因

売上面につきましては、店舗数の減少の影響などにより、当社グループの主軸である蔦屋書店事業全体の売上高は4,426百万円(前年同期比95.1%)となりました。

利益面につきましては、不採算店舗の撤退を進め、また、物流費を中心としたコスト抑制や店舗運営の効率化などにより販管費の削減に努めました。その結果、営業利益4百万円(前年同期 営業損失31百万円)、経常損失16百万円(前年同期 経常損失48百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円(前年同期 親会社株主に帰

属する四半期純損失56百万円)となりました。

セグメントの状況は、次のとおりです。

① 蔦屋書店事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,426百万円(前年同期比95.1%)、セグメント損失は36百万円(前年同期 セグメント損失46百万円)となりました。

主力商品の売上高は、書籍2,830百万円(前年同期比96.8%)、特撰雑貨・文具872百万円(前年同期比101.2%)、レンタル137百万円(前年同期比69.2%)、ゲーム・リサイクル45百万円(前年同期比55.9%)、販売用CD50百万円(前年同期比79.8%)、販売用DVD32百万円(前年同期比49.9%)、賃貸不動産収入120百万円(前年同期比97.3%)となりました。

② ゲーム・トレーディングカード事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高128百万円(前年同期比123.1%)、セグメント利益17百万円(前年同期比443%)となりました。

③ スポーツ関連事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高55百万円(前年同期比115.6%)、セグメント損失1百万円(前年同四半期 セグメント損失8百万円)となりました。

④ 訪問看護事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高48百万円(前年同期比128.6%)、セグメント利益3百万円(前年同四半期90.4%)となりました。

⑤ 飲食事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高304百万円(前年同期比107.6%)、セグメント利益12百万円(前年同期比213.1%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末比72百万円減少し、15,707百万円となりました。これは主に現金及び預金が73百万円、売掛金が23百万円それぞれ増加した一方で、商品が61百万円減少した結果、流動資産が25百万円増加し、また、建物及び構築物が33百万円、リース資産が28百万円、のれんが35百万円それぞれ減少した結果、固定資産が98百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末比13百万円増加し、14,175百万円となりました。これは主に買掛金が428百万円増加した一方、一年内返済予定分を含む長期借入金が148百万円、短期借入金が100百万円、一年内支払予定分を含むリース債務が59百万円、未払金が48百万円、それぞれ減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末比85百万円減少し、1,532百万円となりました。これは主に、剰余金の配当を63百万円実施したこと、及び親会社株主に帰属する四半期純損失を28百万円計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期の連結業績見通しにつきましては、2024年12月12日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	988,928	1,062,567
売掛金	404,344	427,834
商品	6,920,010	6,858,970
前払費用	233,728	221,883
未収入金	190,612	194,505
その他	11,577	9,084
貸倒引当金	△404	△404
流動資産合計	8,748,797	8,774,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,154,457	1,120,918
土地	1,415,040	1,415,040
リース資産(純額)	1,941,896	1,912,947
その他(純額)	64,743	62,946
有形固定資産合計	4,576,138	4,511,852
無形固定資産		
のれん	118,213	82,925
その他	16,323	15,583
無形固定資産合計	134,537	98,508
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,138,293	2,111,001
その他	182,593	212,078
投資その他の資産合計	2,320,887	2,323,080
固定資産合計	7,031,563	6,933,441
資産合計	15,780,360	15,707,883

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,230,455	3,657,149
短期借入金	4,500,000	4,400,000
1年内返済予定の長期借入金	587,887	552,192
リース債務	355,547	360,398
未払法人税等	38,643	8,900
賞与引当金	28,000	13,500
未払金	304,114	255,859
資産除去債務	3,127	—
株主優待引当金	7,500	—
その他	278,847	270,694
流動負債合計	9,334,123	9,518,694
固定負債		
長期借入金	1,607,793	1,494,819
リース債務	2,708,864	2,644,155
資産除去債務	181,437	185,127
長期前受収益	158	983
退職給付に係る負債	29,464	29,149
役員退職慰労引当金	62,941	62,941
長期末払金	21,267	20,652
長期預り敷金保証金	216,542	219,248
固定負債合計	4,828,468	4,657,077
負債合計	14,162,591	14,175,772
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,115,474	4,052,129
利益剰余金	△2,361,594	△2,389,716
自己株式	△270,027	△270,027
株主資本合計	1,583,851	1,492,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,902	2,136
その他の包括利益累計額合計	1,902	2,136
新株予約権	8,249	8,249
非支配株主持分	23,765	29,340
純資産合計	1,617,769	1,532,111
負債純資産合計	15,780,360	15,707,883

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年11月1日 至2024年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年11月1日 至2025年1月31日)
売上高	5,073,513	4,894,806
売上原価	3,400,661	3,219,545
売上総利益	1,672,851	1,675,261
販売費及び一般管理費	1,704,764	1,670,840
営業利益又は営業損失(△)	△31,912	4,421
営業外収益		
受取利息	1,895	1,414
協賛金収入	2,630	2,890
原子力立地給付金	3,578	3,032
その他	2,742	2,927
営業外収益合計	10,847	10,264
営業外費用		
支払利息	26,828	29,905
雑損失	364	1,287
営業外費用合計	27,192	31,192
経常損失(△)	△48,257	△16,506
税金等調整前四半期純損失(△)	△48,257	△16,506
法人税、住民税及び事業税	8,091	6,039
法人税等合計	8,091	6,039
四半期純損失(△)	△56,349	△22,546
非支配株主に帰属する四半期純利益	521	5,575
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△56,870	△28,121

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
四半期純損失(△)	△56,349	△22,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,294	233
その他の包括利益合計	3,294	233
四半期包括利益	△53,054	△22,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△53,576	△27,887
非支配株主に係る四半期包括利益	521	5,575

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	蔦屋書店 事業	ゲーム・ トレーディング カード事業	スポーツ 関連事業	訪問看護 事業	飲食事業			
売上高								
外部顧客に 対する売上高	4,601,932	104,137	46,133	37,847	283,461	5,073,513	—	5,073,513
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	54,483	—	1,554	—	—	56,037	△56,037	—
計	4,656,415	104,137	47,688	37,847	283,461	5,129,551	△56,037	5,073,513
セグメント利益 又は損失(△)	△46,311	3,877	△8,222	3,720	5,632	△41,304	9,391	△31,912

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	蔦屋書店 事業	ゲーム・ トレーディング カード事業	スポーツ 関連事業	訪問看護 事業	飲食事業			
売上高								
外部顧客に 対する売上高	4,362,739	128,184	50,260	48,655	304,965	4,894,806	—	4,894,806
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	63,651	—	4,854	—	—	68,505	△68,505	—
計	4,426,390	128,184	55,115	48,655	304,965	4,963,312	△68,505	4,894,806
セグメント利益 又は損失(△)	△36,469	17,213	△1,080	3,363	12,001	△4,970	9,391	4,421

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	100,981千円	96,474千円
のれんの償却額	5,293千円	5,293千円

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 商品別販売状況

セグメントの名称		前第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)		前年同期比 (%)
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	
蔦屋書店事業	書籍	2,923,150	57.1	2,830,027	57.0	96.8
	特撰雑貨・文具	862,616	16.8	872,938	17.6	101.2
	レンタル	198,771	3.9	137,623	2.8	69.2
	賃貸不動産収入	124,109	2.4	120,745	2.4	97.3
	販売用CD	65,327	1.3	50,868	1.0	79.8
	ゲーム・リサイクル	81,715	1.6	45,657	0.9	55.9
	販売用DVD	63,717	1.2	32,617	0.7	49.9
	その他	282,524	5.5	272,262	5.5	96.4
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	54,483	1.1	63,651	1.3	116.8
	計	4,656,415	90.9	4,426,390	89.2	95.1
ゲーム・ トレーディング カード事業	外部顧客に対する売上高	104,137	2.0	128,184	2.6	123.1
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	104,137	2.0	128,184	2.6	123.1
スポーツ関連 事業	外部顧客に対する売上高	46,133	0.9	50,260	1.0	108.9
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,554	0.0	4,854	0.1	312.3
	計	47,688	0.9	55,115	1.1	115.6
訪問看護事業	外部顧客に対する売上高	37,847	0.7	48,655	1.0	128.6
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	37,847	0.7	48,655	1.0	128.6
飲食事業	外部顧客に対する売上高	283,461	5.5	304,965	6.1	107.6
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	283,461	5.5	304,965	6.1	107.6
合計		5,129,551	100.0	4,963,312	100.0	96.8

(注) 1 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

2 蔦屋書店事業の「その他」は、図書カード他であります。